

特別の教育課程の編成方針等について

1. 特別の教育課程の概要及び編成方針

リンデンホールスクール小学部では、小学校1～6学年において「環境科」を実施する。また、「国語」「道徳」以外の教科等の授業を英語で行うイマージョン教育を実施する。

「環境科」では、毎日の給食で出た野菜や果物の皮などを児童がコンポスト（堆肥）にし、学校の畑で野菜を栽培する際に活用し、収穫した野菜は給食の食材として使う。生ごみを減らすことによりCO₂排出量を削減に繋げ、地域との繋がりや環境について考え、自分たちができる取り組みを実践する機会になっている。その後、地域のオーガニック野菜農園で、有機農法について学びながら有機農法で体験を通して更に理解を深めている。

「英語イマージョン教育」においては、第1～6学年において、「国語」「道徳」以外の各教科等について、英語による授業を実施する。

（1）学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

リンデンホールスクール小学部では、今までは給食の食べ残しの処分に関して排出されるCO₂の量をグラフ化、数値化して児童に提示してきた。また、理科などで年間気温の変化を測定して数値化してきた。しかし、クリーンエネルギーに関する知識・理解に寄与する態度を養うためには、身近な生活に関係する環境問題について各教科で指導するだけでなく、気象変化、新しい災害への認識、諸外国の取り組み等、地球規模の問題と関連付けて一つの教科の中で系列的・体系的に指導することが必要である。そのために「環境科」を新設し、英語イマージョン教育やIT、プレゼンテーションの授業などと、関連付けながら、日本各地、その他の国々との英語を媒介とした国際比較による環境データの分析、ディスカッション、検討などを行っていく。